

システムの使い方

システム名

ピアノ用自動バラード調アレンジシステム

システムの目的

既存のピアノ演奏用譜面から、本システムの自動アレンジ機能、もしくは手動操作によるアレンジ機能を用いることで、バラード調のピアノ演奏用譜面を生成する。

システムの起動方法

事前にバラード調に編曲したい譜面のMIDIファイルを、システムフォルダ内にあるMIDIフォルダ内に入れておく。

システムディレクトリを開いた状態でコマンドプロンプトを起動する。

コマンドプロンプトに

```
javac -cp ..¥lib¥*. PianoBallad.java
```

```
java -cp ..¥lib¥*. PianoBallad ./MIDI/“入力midiファイル名”
```

を入力するとシステムが起動する。

システムの操作方法

システムが起動すると図1のような画面が表示される。

システムには、すでにコマンドで指定したMIDIファイルが入力されている。

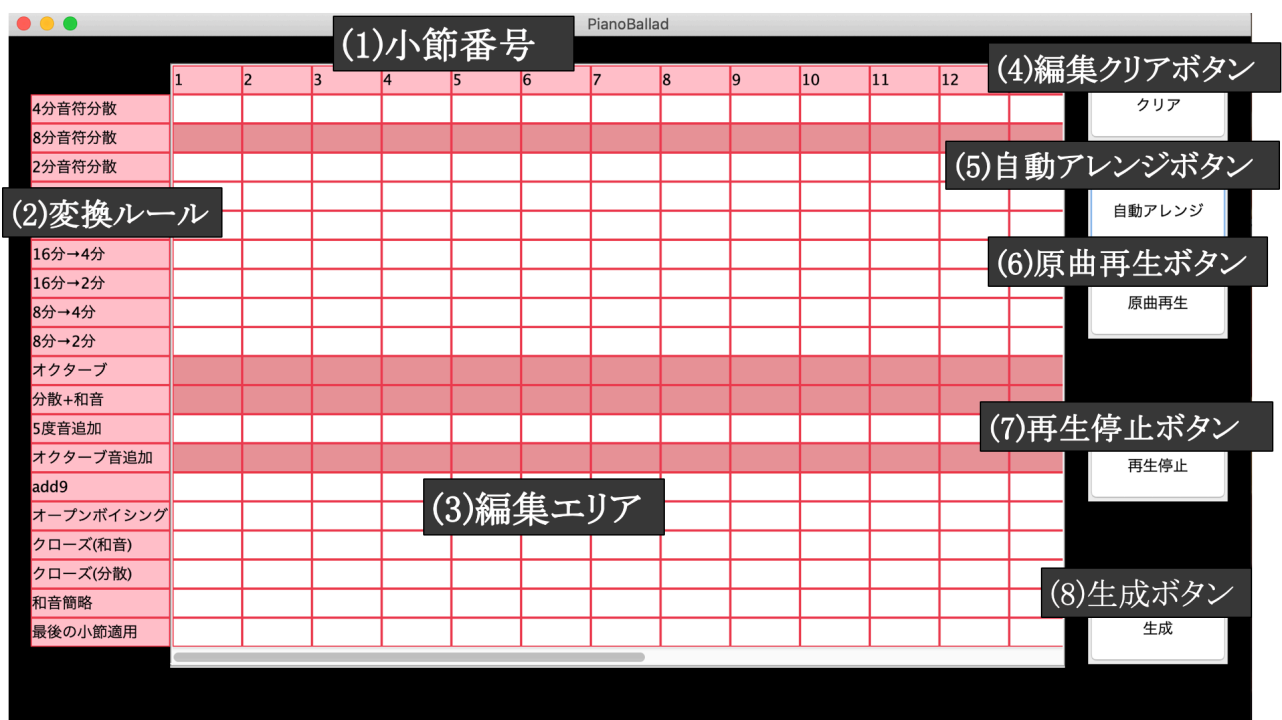


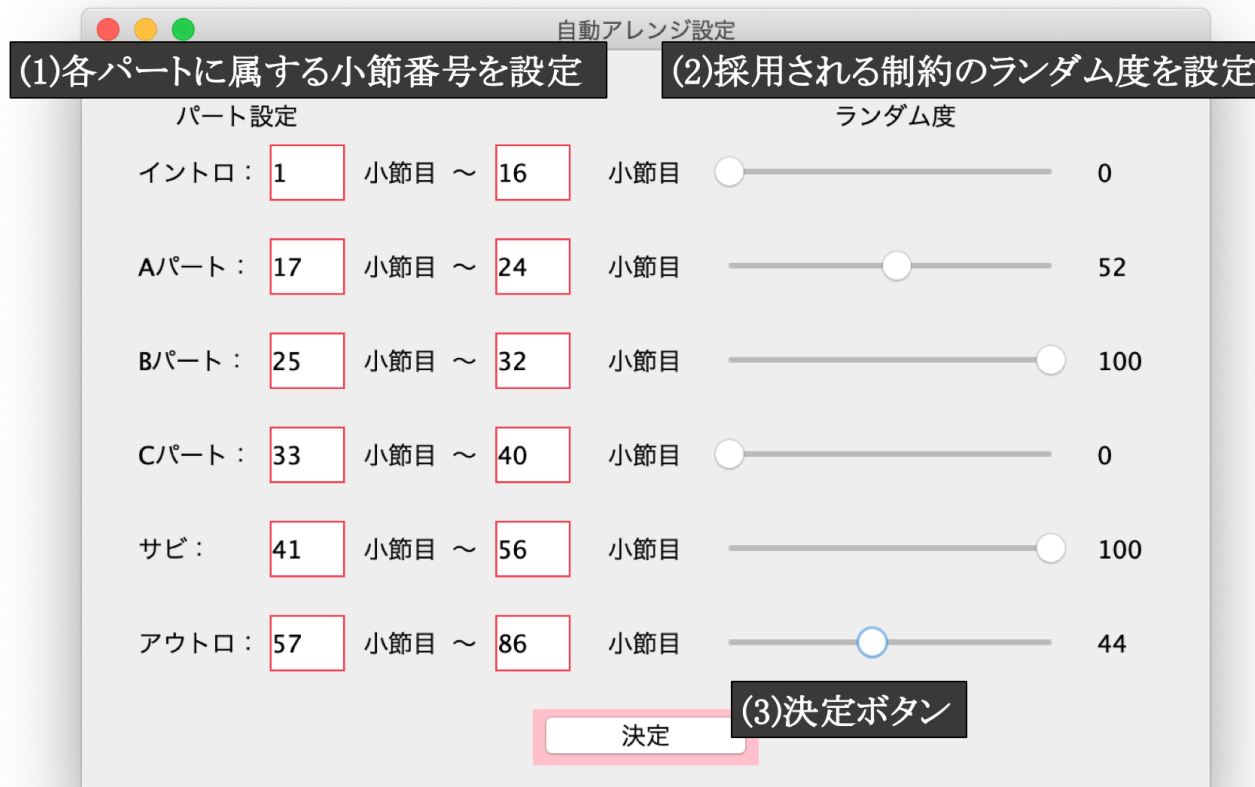
図1：編集画面

編集画面で表示しているもの。

- (1)入力された譜面（MIDIファイル）の小節番号を表示する。
- (2)バラード調に編曲するための変換ルールの一覧を表示する。
- (3)どの小節にどの変換ルールを適用されているかを表示する。対応するマスをクリックすると変換ルールの適用の有無を変更できる。
- (4)変換ルールの適用をすべて無効にする。
- (5)自動アレンジフォームを開く。
- (6)システムに入力されたMIDIファイルを再生する。
- (7)再生を停止する。
- (8)バラード譜面を生成する。生成すると、バラード再生ボタンが現れ、出力MIDIファイルを再生することができる。また、出力MIDIファイルはシステムフォルダ内に"output.mid"という名前で保存される。

自動アレンジ機能

自動アレンジボタンを押すと図2のようなフォーム画面が表示される。自動アレンジは、以下の手順に従って行う。



自動アレンジ設定

パート設定		ランダム度	
イントロ :	1 ~ 16	小節目	0
Aパート :	17 ~ 24	小節目	52
Bパート :	25 ~ 32	小節目	100
Cパート :	33 ~ 40	小節目	0
サビ :	41 ~ 56	小節目	100
アウトロ :	57 ~ 86	小節目	44

決定 (3)決定ボタン

図2：自動アレンジ設定フォーム

- (1)各パートに属する小節番号の、開始番号と終了番号を入力する。
- (2)各パートごとに対するランダム度を決定する。
- (3)決定ボタンを押す。